



# AMED「再生医療・遺伝子治療の産業化に向けた基盤技術 開発事業（遺伝子治療製造技術開発）」成果報告会

## ■開催趣旨■

本報告会では、平成30（2018）年度より6年間実施された課題について、研究開発成果を紹介するとともに、今後の遺伝子・細胞治療の成果展開に向けた議論を通じて、実用化の一層の加速につながることを期待しております。

■日時： 2023年12月28日（木） 9時～12時（予定）

■会場： オンライン配信（最大1,000名）

## ■プログラム

時間	タイトル（仮）	発表者（敬称略）
9:00～9:05	開会挨拶	AMED再生・細胞療法・遺伝子治療事業部 部長 神田 忠雄
9:05～9:10	挨拶	AMED遺伝子治療製造技術開発事業 プログラム・スーパーバイザー 稲垣 治
9:10～10:20	<課題1> 「遺伝子・細胞治療用ベクターのプラットフォーム製造技術開発」 ・全体概要 ・分科会A・B・Cの成果	次世代バイオ医薬品製造技術研究組合 プロジェクトリーダー 大政 健史 各分科会長
10:20～10:30	(休憩) 	
10:30～10:45	<課題2> ①「高品質遺伝子治療ベクター製造法の確立に向けた戦略的技術基盤」	東京大学 医科学研究所 教授 岡田 尚巳
10:45～11:00	②「AAVベクター遺伝子治療／ゲノム編集治療／CAR-T療法に関する研究開発」	自治医科大学 名誉教授・客員教授 小澤 敬也
11:00～11:15	③「日本初がん治療用ウイルス開発の革新技術研究拠点」	東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 教授 藤堂 具紀
11:15～11:30	④「日本発の遺伝子改変T細胞の実用化を促進するための、霊長類モデルを用いた安全性評価系の基盤整備」	信州大学 医学部 教授 中沢 洋三
11:30～11:45	⑤「安全性の高い遺伝子・細胞治療を実現するステルス型RNAベクター技術の確立」	ときわバイオ株式会社 つくば研究所 取締役・所長 中西 真人
11:45～11:50	閉会挨拶	経済産業省 課長補佐 幸寺 玲奈

## ■主催

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）

## ■お問い合わせ先

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 再生・細胞医療・遺伝子治療事業部 遺伝子治療研究開発課

E-Mail : gene.therapy@amed.go.jp